

平成22年9月分電力需給状況

需要の概要

平成22年9月の販売電力量は、26億6千1百万kWh時、前年比 113.0%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、猛暑により、8月から9月にかけて気温が前年に比べ高く推移し、冷房需要が増加したことなどから、前年比 120.5%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比 110.0%となった。

産業用の「大口電力」は、繊維や鉄鋼、機械が前年を上回ったことなどから、前年比 107.7%となった。

<参考>

9月分の販売電力量としては、平成19年9月に次ぐ、過去2番目の水準となった。

- ・ 電灯は、記録的な猛暑の影響により過去最高の水準。
- ・ 大口電力は、リーマンショック前の20年度上期平均と比べ1割程度低く、過去3番目の水準。

需要実績

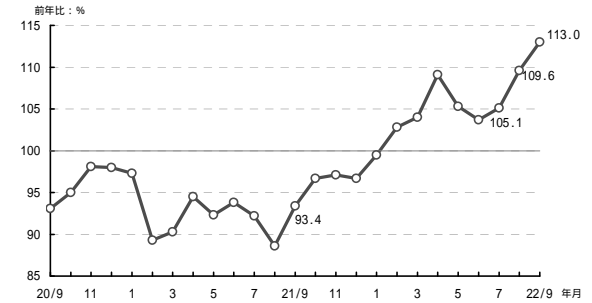
		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	942	120.5
	電 力	208	114.9
	計	1,150	119.4
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	622	110.0
	産業用電力	889	107.5
	うち大口電力	(678)	(107.7)
	計	1,511	108.5
販売電力量計		2,661	113.0
融 通		465	131.4

注・特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
電力量	前年比	前年比		
		22/9月	22/8月	22/7月
織 維	32	119.3	128.9	119.9
紙・パルプ	113	96.1	101.9	97.3
化 学	102	99.4	104.6	104.5
鉄 鋼	57	108.9	122.2	160.5
機 械	168	115.8	118.1	112.7
そ の 他	206	111.2	111.5	108.6
合 計	678	107.7	111.9	111.2

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温

	22/8月				22/9月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	29.2	30.2	29.6	29.7	29.3	26.7	23.2
平年差	1.5	2.8	2.6	2.4	3.7	2.8	1.3	2.6
前年差	1.5	2.0	2.6	2.1	3.0	3.7	1.1	1.8

供給の概要

- ・ 原子力は、定期検査の影響により、前年比 72.0%となった。
- ・ 水力は、前年の湯水の影響により、前年比 142.3%となった。
- ・ 火力は、原子力の減少、需要の増加などにより、前年比 156.9%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		
		電力量	前年比	備 考
原子力	(32)	1,058	72.0	出水率 45.7% (21年9月出水率 30.0%)
水 力	(7)	220	142.3	
火 力	(60)	1,984	156.9	
新工ネ	(1)	26	136.8	
発受電計	(100)	3,288	113.1	
その他		58		
供 給 計		3,229	112.4	

注1. 新工ネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(113.0)	570	(111.6)	443	(111.8)	922	(115.4)	726

注.()内は前年比